

- 松前町では、森林を有しないため、森林と触れ合う機会が少ないことが課題となっている。
- このため、保育園への園児用木製椅子の導入及び松前町で出生した子どもに木のおもちゃを提供する木育の取組を実施。

□ 事業内容

園児用木製椅子

- ・ 木製椅子 58脚（1歳児用×10脚、2歳児用×12脚、3歳児用×18脚、5歳児用×18脚）。

【事業費】1,895千円（うち譲与税1,895千円）

【実績】1,894,552円

赤ちゃん木育初め

- ・ 木のおもちゃ 171点（くまとカタカタ・とりとカタカタセットもしくはひのき赤ちゃんつみきセット）

【事業費】611千円（うち譲与税611千円）

【実績】610,500円

□ 取組の背景

- ・ 森林を有しない松前町に生まれてくる赤ちゃん及び園児が、木に親しむ機会を提供する。



（くまとカタカタ）



（つみき）



（木製椅子）

□ 工夫・留意した点

- ・ 国産材を使用し、木の流通及び子どもの木への親しみを確立させたこと（木製椅子）。
- ・ 身近な県産材を使用したこと（木のおもちゃ）。
- ・ 直接手渡したこと（木のおもちゃ）。
- ・ 昨年度より委託業者を増やし、選択肢を増やしたこと（木のおもちゃ）。

□ 取組の効果

- ・ 木のぬくもりを感じる子育て環境を整備し、木や自然に親しむ機会を提供することにより、健やかな子どもの成長を促すことができた。

◇ 基礎データ

①令和5年度譲与額：3,532千円		②私有林人工林面積（※1）：0ha	
③林野率（※1）：0%		④人口（※2）：29,630人	⑤林業就業者数（※2）：14人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より